

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

富岡市長 榎本 義法

市町村名 (市町村コード)	富岡市 (10210)
地域名 (地域内農業集落名)	吉田地区 (南蛇井(三ツ谷・上道・中井・小梅平)、中沢(日向・破風前場・井手)、蚊沼(蚊沼)、神成(神成)、上小林(上小林))
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月27日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地区は、基盤整備の遅れから、田畑が混在していて営農が不便であり、既存の農道は狭隘で、大型機械の進入も困難である。水田は用排水能力が低く、畑についても同様の理由から生産性が低い。そして、高齢化の進行により、遊休農地の更なる増加が見込まれる。

(2) 地域における農業の将来の在り方

地域で生産量が多い飼料用稲、水稻、飼料作物は集落営農組合も含めて継続していくほか、地産地消を推進し、地域全体で農家をサポートする。新規で就農する場合、初期投資が比較的少なくても参入できるナス、ネギ、ニラといった露地野菜を中心に複合栽培を行い、経営の安定と地域への定着を目指していく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	115 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	115 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針

耕し手のいない農地について、認定農業者や認定新規就農者といった担い手に集積を図るほか、地域で営農を行う者に対しても状況に応じて農地の集積を進めていく。

(2) 農地中間管理機構の活用方針

今後も高齢化や後継者不足による貸付の増加が見込まれるため、離農する際は農地中間管理事業を活用することで、地区内の担い手へ農地を集積していく。

(3) 基盤整備事業への取組方針

今後の基盤整備事業に合わせ、地域内での意見統一を図り、担い手の増加および集積・集約化を図る。

(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針

労働力不足については外国人労働者の受け入れも検討する。新規就農者がいる場合は、市、富岡地区農業指導センター、甘楽富岡農業協同組合等の各機関が連携して経営安定を支援するとともに、地域全体で見守ることにより、就農研修先や農地の確保、住居探しなど経営の定着を確実なものにする。

(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

農作業委託に関しては、吉田集落営農組合で担当する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④輸出	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨その他		

【選択した上記の取組方針】

①鳥獣被害の大きい集落を中心に、柵やネット、罟などの設置と猟友会の活動などを合わせて、被害の防止と営農意欲低下の防止を図っていく。